

令和4年度 学校評価 学校関係者評価書 (3学期)

1 学校の重点目標

(1) 確かな学力の育成	(2) 豊かな心の育成
(3) たくましい心と体の育成	(4) 活力ある学校経営
(5) 学びの教育環境づくり	(6) 信頼される学校・教師
(7) 家庭や地域との連携	

2 評価結果と改善策【4段階評価：(最高4)】

重点目標	評価項目	3学期	評価結果と改善策
1 確かな学力の育成	教職員は、分かる授業を展開し、子供一人一人を伸ばす教育に取り組んでいるか。	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年にも、タブレットが配布された。担任と情報教育担当で連携しながら、児童一人一人に基本的な操作スキルが身に付くよう指導する。 ○ 今年度、算数科を中心に取り組んできた研究を通して身に付けたタブレットの活用と思考力を他教科でも生かし、より分かりやすく説明する力を身に付けさせていく。
	教職員は、子供同士が深く関わり合い、主体的に学べるような環境作りをしているか。	3.60	
	学校は、近隣の幼・保育園、小学校、中学校との連携をよくとっているか。	3.80	
4 豊かな心の育成	学校は、いじめや不登校問題など生徒指導上の課題解決に向け取り組んでいるか。	3.60	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ・不登校の課題について、全職員で現状を再確認し、次年度の方針を共有する。 ○ 読書指導部を中心に学校図書館司書及び家庭との連携を図りながら、読書好きな児童の育成に努めることができた。また、読書月間等では、お話会やビデオバトルなど、読書に関する様々なイベントを計画することで、読書への関心を高めることができた。 ○ 人権集会で学級の人権の取組を発表し、年間を通して児童の人権意識の向上に努めることができた。更に「美しい言葉遣いとあいさつ」(目指す子供像)に対する意識化を図っていきたい。 ○ スクールカウンセラー等と連携を図りながら、児童の困り感を引き出し、より充実した学校生活を送れるようにする。 ○ 自尊感情の低さが、本校の大きな課題の一つである。各学級経営案に、自尊感情を高める具体策を盛り込み、個を大切に学級経営に努める。
	学校は、自分自身を見つめ、それに向き合っており、行動・実践できる児童を育てているか。	3.60	
	学校は、図書室の環境の充実、子供自らが本に親しむ取組をしているか。	3.80	
	学校は、自他の人権を尊重する取組をしているか。	3.60	
	学校は、一人一人の子供の特性に応じた手立てを工夫したり、過ごしやすい環境づくりをしたりしているか。	3.80	
	学校は、自尊感情を育てる場をつくり、何事にもやり抜こうとする児童の育成をしているか。	3.80	
10 たくましい心と体の育成	学校は、健康増進・体力向上を家庭と連携して取り組んでいるか。	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「歩いて登下校」の実践による体力の向上と家庭でのスキンシップを兼ねた体力づくりの取組について、次年度のPTA総会で保護者に説明する。 ○ 桜島火山爆発防災訓練と運動し、「考えさせる避難訓練」を計画・実施する。
	学校は、子供たちの安全(登下校時、自然災害時)指導を適切に行っているか。	3.60	
13 活力ある学校経営	子供たちは、望ましい子供の姿(お・う・しゅ)に向かって育っているか。	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各行事等に対し、個人目標を設定させ、本番に臨むまでの心構えや、事後の反省を通して、「折れないしなやかな心と元気な体【レジリエンス】」の育成に取り組む。 ○ 学級通信や学校便り、学級PTA・学校運営協議会等、機会あるごとに学校経営方針について、保護者や地域の方々に周知し、学校運営への協力を求める。
	子供たちは、楽しくいきいきと学校生活を送っているか。	3.80	
	学校の経営方針が保護者や地域によく伝わっているか。	3.20	
15 学びの教育環境作り	学校は、常に整理整頓され、花や緑に囲まれているか。	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緑化の花の育成、管理が充実し、学級園等の花が充実していた。フェンス等から出ている枝も処理し学校の環境整備が充実した。 ○ 安全点検後は、修繕可能な箇所は処理を行った。早急な対応が難しい場合には、「使用禁止」などの貼紙を掲示するなど、安全管理に努めていく。
	学校は、施設や設備を定期的に点検し安全管理を維持に取り組んでいるか。	3.60	
17 信頼される学校・教師	教職員は、授業や行事等へ組織として取り組んでいるか。	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各行事ごとの目標を共有し、仕事を分担しながら効率よく運営に取り組むことができた。研究授業においても授業者任せにせず、全体で指導案検討から授業づくりに参加し、準備等にも協力して取り組むことができた。
	学校は、信頼される学校づくりや不祥事の根絶のために取り組んでいるか。	3.80	
19 家庭や地域との連携	学校は、子供たちの学力や体力等について保護者や地域によく伝えているか。	3.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級PTAや学校保健委員会等で、児童の様々な情報を各担任・係からデータを基に説明していく。 ○ 3学期は読み聞かせや生活科の昔遊びに協力して頂いた。更に保護者や地域の方々に教育活動への協力を求めていく。(家庭科：調理・ミシン、算数科：そろばんなど)
	学校は、教育活動に保護者や地域の協力・支援を受けて取り組んでいるか。	3.40	
		3.66	

3 次年度に向けての取組

○ 令和5年度の一部複式指導に向けて、全学年でより主体的で自立的な学びの確立に向け、学習過程を工夫していく。
○ 学校統合に向けて、桜島島内の小・小中連携を更に推進していく。(リモートによる合同授業の実施など)